【レジメン名】mFOLFOX6＋ベバシズマブ療法

【病名】治癒切除不能・進行再発の大腸癌

【投与量】

Day 1に投与

ベバシズマブ	5 mg/kg：90分かけて※[1])
オキサリプラチン	85 mg/m²：120分かけて※[2])
レボホリナートカルシウム	200 mg/m²：120分かけて※[2])
フルオロウラシル(急速静注)	400 mg/m²：全開投与(10分ぐらいかけて)
フルオロウラシル(持続静注)	2400 mg/m²：46時間持続投与

1クールを14日間とする

※[1]）忍容性を確認後に短縮可

※[2]）同時に投与

	Day 1	Day 2	……	Day 15
ベバシズマブ	↓			↓
オキサリプラチン	↓			↓
レボホリナートカルシウム	↓			↓
フルオロウラシル(急速静注)	↓			↓
フルオロウラシル(持続静注)	→	→		→

★備考

・ベバシズマブによる蛋白尿が発現する可能性がある為、開始前及び投与期間中は定期的に尿蛋白の検査を施行。

・ベバシズマブによる高血圧が発現することがある為、投与開始前及び投与期間中は定期的に血圧の測定を施行。

・オキサリプラチン投与時に発現する過敏症を軽減させる為、投与前に抗アレルギー剤（ジフェンヒドラミン等）の投与を施行。

・中等度催吐性リスク。